



春日造の比売久波神社本殿―川西町で



化財)

(住所) 川西町唐院473
(祭神) 久波御魂神・天八千千姫
(文化財) 本殿(春日造、県指定文
化財)

(交通) 近鉄結崎駅から徒歩約30分
(拝観) 自由。秋祭りは10月第2土
曜・日曜
(駐車場) なし

比売久波神社 (川西町)



比売久波神社は、川西町唐院の国史跡・島の山古墳の西側にあります。平安時代の「延喜式神名帳」に記載のある式内社で、由緒ある神社です。祭神は久波御魂神・天八千千姫で、古事記や日本書紀に記載の神ではありません。

桑を意味し、古くは桑の葉をご神体としたとの伝

承や、天八千千姫は、桑の葉を香具山に植えて蚕を飼う絹を織ったという伝承から、同じ川西町にある糸井神社と共に、養蚕・絹織物の生産に関わる地域であったと考えられています。

本殿(県指定文化財)は、江戸時代初期に春日大社若宮神社本殿を移されたものと伝わり、現存する春日大社古社殿のうちで最古のものの一つです。本殿と拝殿の間にある平石は、島の山古墳から持ちだされた石で、後円部頂上の竪穴式石室に使用された天井石であることがわかっています。

蚕飼い 絹織った女神祭る

本殿西側には「きりんじ」と呼ばれる神宮寺の箕輪寺がありました。今では境内に基壇跡を残すのみとなっています。(奈良まほろばソムリエの会会員 川端真知子)